平成２６年度　事業報告書

自　平成２５年１２月　２日

至　平成２６年１１月３０日

一般財団法人　亀田郷地域センター

目　　次

１．農業振興事業　～農家の先進的な取り組みを支援する～……1

（１）先進農業助成……1
（２）先導的農家支援……2
（３）調査・研究……3
（４）その他　家族田植え・稲刈り体験交流会ほか……4

２．地域振興事業
～都市機能と環境が調和し農業が栄える街をつくる～ ……6

（１）地域づくり助成……6
（２）地域づくり活動支援……13
①鳥屋野潟環境啓発……13
②健康管理助成……14
（３）都市近郊農業を発展させるための条件整備……15
①鳥屋野潟南部開発計画の推進……15

３．受託事業……15

（１）土地賃貸借事務管理……15

４．その他……16

（１）諸規程の制定・一部改定……16

１．農業振興事業　～農家の先進的な取り組みを支援する～

（１）先進農業助成

「先進農業助成」制度により、亀田郷農産物の新たな市場開拓に取り組んだ亀田郷の農家グループの支援を行った。実績は以下の通りである。

項番	工区	申請団体	助成対象	種別	事業費	助成額
①	曽野木	曽野木フレッシュ組合	スーパーでのイベント、対面販売等による販路拡大	(3)	406,086	203,000
		合　　計			406,086	203,000

種別　(3)：亀田郷農産物の新たな市場開拓

①	曽野木	スーパーでのイベント、対面販売等による販路拡大			
申請団体		曽野木フレッシュ組合		対象事業	(3)市場開拓
事業費(円)	406,086	助成額(円)	203,000	採択期	H25.5
事業の結果	(a) 東京・神奈川（H25.7.25，H25.11.21～22，H26.2.26～27） 従来からの、神奈川のスーパー「スズキヤ」に加え、東京のスーパー「文化堂」への出荷を開始。店舗視察や対面販売を行うことで、産地のＰＲや次年度の販売対策ができた。 (b) 新潟（H25.11.4～12.8） インショップ型産直を展開している市内スーパー１５店舗で、日頃のご愛顧感謝及び新規顧客獲得のため、餅つきを開催。産地のＰＲができた。				
参加人数等	(a) 出荷者　１３名　　(b) 出荷者　３１名				

(a) 神奈川「スズキヤ」

(a) 東京「文化堂」

(b) 新潟「清水フード」

（２）先導的農家支援

①新潟農業経営塾

新潟大学伊藤忠雄名誉教授を主宰に、県下で活躍する農業法人経営者を講師に招き、農業の見通しや経営の工夫について語ってもらった。今年度は６回開催し、合計３６３名の聴講者が参加した。

回 開催日	講　　師	参加 者数
第８回 H25.12.4	(株)千手　代表取締役　柄澤　和久　氏 (十日町市中屋敷(旧川西町))	61 名
第９回 H26.2.5	(有)白根グレープガーデン　代表取締役　笠原　節夫　氏 (新潟市南区(旧白根市))	61 名
第 10 回 H26.4.2	(有)穂海農耕／(株)穂海　代表取締役　丸田　洋　氏 (上越市(旧板倉町))	72 名
第 11 回 H26.6.4	(有)ワイエスアグリプラント　代表取締役　藤田　一雄　氏 (新潟市西蒲区(旧西川町))	82 名
第 12 回 H26.8.6	(有)農園ビギン　代表取締役　南雲　信幸　氏 (小千谷市坪野)	41 名
第 13 回 H26.10.1	(有)ファーミングスタッフ　代表取締役　安野　検一　氏 (柏崎市西山町内方)	46 名
	合　　計	363 名

②生産加工販売戦略

◎　アロニア生産支援

前年に引き続き、「アロニア」の生産支援を行った。生産者（亀田農業者会議アロニア部会）から業者へ集荷を依頼する場合に必要となる、集荷保管委託料等相当額を、当該部会へ助成した。

○　収穫量　　４．０ｔ（前年比－０．９ｔ）

○　２６年度　販売先

集荷業者からの交渉で、２６年度は下記の出荷先へ販売した。

(1) 石山味噌醤油㈱：アロニアりんご酢ダイエット（継続）

前年に引き続き製品製造を行った。２６年度現在は、アロニアの知名度が比較的高い、北海道地区に重点的に販売した。

※　H26.12 民事再生法適用申請。当面の事業は継続するものの、前年度収穫品や在庫が不良化するおそれもある。状況を注視する一方、新規販売先の開拓が課題となる。

(2) ㈱スドージャム：アロニアシロップ煮　→　原信

スドージャム（本社：長野県松本市）はジャム製造大手。「新潟産」として製造したアロニアシロップ煮を、原信（独占販売）のカットフルーツコーナーで売っている。

(3) (株)スドージャム：アロニアジャム(給食用小袋)　→　(株)給材

学校給食用のアロニアジャムもスドージャムに製造を委託し、給食材料取扱業者である(株)給材が扱っている。

（３）調査・研究

◎地域で発生する農業廃棄物等の収集流通利活用のマッチング

土壌改良資材としての卵殻カルシウム利用のマッチング

阿賀野市の食品企業、(株)ワイエムフーズで発生する鶏卵殻について、成分分析、試験導入の後、H26.4 から、地元農家向けに、利用方法などの広報を行った。

（４）その他

① 田植え・稲刈り体験交流会

亀田郷土地改良区事務所脇の体験田で、家族田植え・稲刈り体験交流会を開催した。昔ながらの手植えや鎌での刈り取り作業を一般の方々に体験していただいた。

（ａ）田植え体験交流会：H26.5.31(土) 快晴

196 名参加（有料（小学生以上）…170 名）

大ホールでの昼食時、新潟農業普及指導センターの協力により、コメに関するクイズ大会を実施。

（ｂ）稲刈り体験交流会：H26.10.6(土) 曇り一時雨

196 名参加（有料（小学生以上）…167 名）

大ホールでの昼食時、新潟医療生協の協力により出前健康チェック、亀田農業者会議の協力により農産物直売を行った。

（ｃ）収穫米の活用

収穫米の収量は玄米で 960kg(16 俵)となった。精米し、400kg は 1kg 小袋詰めにしラベルを貼って、参加者や協力者へ配布した。

また今年度初の試みとして、新潟市食育・花育センターへＰＲ用として 180kg 提供した。同センターからは、「秋の収穫感謝祭（H26.10.26）」を始め、各種のイベントや料理教室で、地元産のコメとしてＰＲに活用していただいた。

② 直売所商品券発行

亀田郷農産物直売所の利用促進を図るため、郷内８箇所の直売所で利用できる商品券を発行した。（当センターから 500 円券 120 枚、亀田農業者会議から同 15 枚）

配布は、H26.10.19 に開催された「新潟市江南区　旬果旬菜いきいきフェスタ」の会場で、亀田農業者会議が実施するイベントの景品として配布した。平成 26 年内を利用期限とし、118 枚、88%が利用された。

２．地域振興事業
～都市機能と環境が調和し農業が栄える街をつくる～

（１）地域づくり助成

「地域づくり助成」制度により、農業の祭典、歴史的事物の記念事業、地域のたより発行などの取り組みに対する支援を行った。実績は以下の通りである。

項番	工区	申請団体	助成対象	種別	事業費	助成額
①	横越	藤山分区・駒込分区	竹の子フェアフジコマ	(1)	950,211	100,000
②		横越工区	横越小学校門柱を活用した小林存歌碑建立	(3)	1,272,468	240,000
③	大江山	丸山分区	丸山の歴史を伝える石碑建立	(3)	1,000,000	200,000
④		大江山工区(文化とスポーツの祭典実行委員会)	文化とスポーツの祭典	(1)	1,061,199	100,000
⑤		大江山工区(すごぼり桜まつり協賛会)	すごぼり桜まつり	(1)	615,600	100,000
⑥		大江山工区(大江山地域づくり推進委員会)	地域づくりだより	(4)	172,800	172,800
⑦	亀田	亀田工区	かめだ梅まつり	(1)	588,359	100,000
⑧	両川	両川工区 (酒屋町商工会)	ゆめ祭り酒屋	(1)	1,366,932	100,000
⑨	曽野木	曽野木工区 (曽野木商工会)	曽野木商工会祭り	(1)	648,070	100,000
⑩		曽野木工区(曽野木地区地域づくり協議会)	地域づくりだより	(4)	224,208	224,208
⑪		曽野木工区(丸潟新田みどりの会)	紫陽花祭り	(1)	300,539	100,000
⑫	石山	石山工区	健康まつり	(1)	6,908,899	100,000
		合　　計			15,109,285	1,637,008

種別　(1)　工区を最低の単位として行われる農業の祭典
　　(3)　農家と地域住民の大多数が、歴史的に価値があると認める出来事及び人物などを記念する事業
　　(4)　地域づくり協議会における「たより」の発行

①	横越	たけのこフェアフジコマ			実施日	H26.5.11
申請団体		たけのこフェア実行委員会			対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)		950,211	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　家族連れが多く来場。「たけのこご飯」「焼きたけのこ」等を味わい、楽しいひとときを過ごす。 ○　販売用たけのこほか地元農産物も、新鮮・安価で、長い行列ができ、即刻完売となった。 ○　藤山・駒込地区に群生する竹林は、地域の重要な環境資源。隣接するうぐいす団地や横越地区の諸団体とともに、この竹林の保護・環境保全を、コミュニティー全体の活動を通して推進していくための大きな連帯感が醸成された。					
参加人数等	来場者　約 600 名					

②	横越	横越小学校門柱を活用した小林存（こばやしながろう）歌碑建立			実施日	H26.6.6
申請団体		横越工区（小林存歌碑建立の会）			対象事業	(3)歴史的記念事業
事業費(円)		1,272,468	助成額(円)	240,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　旧横越小学校の門柱を活用し、民俗学を始め、新潟新聞主筆など幅広い文筆活動と多くの郷土誌を残した、横越出身の小林存の歌碑を建立した。 ○　完工にあたり、除幕式と記念式典を開催した。また、講師を招いて、記念講演会を開催した。					
参加人数等	記念講演会参加者　　約 50 名					

③	大江山	丸山の歴史を伝える石碑建立			実施日	H26.4.9
申請団体		丸山分区			対象事業	(3)歴史的記念事業
事業費(円)		1,000,000	助成額(円)	200,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　丸山地内の神明宮境内に、先人の方々の足跡を後世に語り継いでいく役割の一助として石碑を建立した。					
参加人数等						

浦郷暁暮　畏敬慈歩

本村丸山を挟むる、旧弧島高校の丁字路さ四十七米下は海の内側に沿う低湿地の中、沼池が点在し、亀田砂丘を見る、地区に家族総年現、伝多見五新門を石まどし、丸山新田の開発が始まったと云われる。

穏香に尽くし、時き良活が生れた村の春は村寄合や村祭りで賑い、五人組制度、相四郎、朝夫で働く。

想祭を通じ、人びとの絆を深める。本物の中、亀田神社、春秋は隆まで水の中、かんじき、を履き、梅川、松原、地を かついだ砂丘畑の耕作が続く。

昭和二年神明宮祀る、神仏分離により明治八年一月二日、大江神明宮、神仏分離により明治八年一月日中坂中神明宮、地区、境内社、伊勢、稲荷、八幡、天満宮、境内地を寄付り、宮は仁多見大地平の翌て松苗を植え、後年植林したのが今の松林。

昭和二十年敗戦、同二年農地解放、二三年亀田郷解地整理組合（二年末故に改称）結成、耕水路亀田化。

以来一村対戦死二八解に盆を取り、昭和三二五年英霊神を建立、昭和四三年対戦を現在の極に絵柳する慰霊為まり災遠、道路調査に始まり四年を費す、政子絵代遊辺丸助た、道路調査の苦労であったが丸山全体として成し遂げる集地と、住民個人の協力、協調と創意、歩み、田耕作、村神の集地と、住民個人の協力、協調と創意、歩み、田耕作、村神する力スの家族引き込み、水道、消防水利の改良を、地村より一歩発駆ける、分区による神社参道の大修理、

本村の新しい時代が生れた。

平成五年宮の自身の社殿、岡部平次郎寄進田を処分、

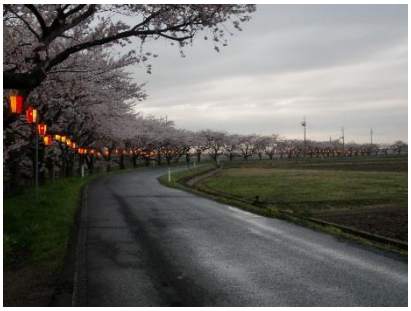
氏子総自治会、地区、平成二年完成する為たり、

先人方の用水路整備、平成二年完成する為たり、

浦郷暁暮、畏敬慈歩とたどって、今日一日思しみ歩むことを希求して、石文にする所以である。

④	大江山	文化とスポーツの祭典			実施日	H26.11.3
申請団体		大江山地区文化とスポーツの祭典実行委員会			対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)		1,061,199	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　地域づくり活動の一環として様々な催しやスポーツ大会を通じ、農家と地域住民との交流が図られ、農村集落としての大江山地域の連帯と協調が深められた。					
参加人数等	亀田郷農家　３８０人　　その他　４２０人　　合計　８００人					

⑤	大江山	すごぼり桜まつり		実施日	H26.4.8～25
申請団体		すごぼり桜まつり協賛会		対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)	615,600	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　横越排水路に植栽した桜並木にぼんぼり等を設置し、桜の名所、住民の憩いの場として発展させる。現在では地域の桜の名所となり、地域交流に寄与している。				
参加人数等	観桜会　亀田郷農家　３６人　　その他　６１人　　合計　９７人				



⑥	大江山	地域づくりだより		実施日	H26.11.17
申請団体		大江山地域づくり推進委員会		対象事業	(4)たよりの発行
事業費(円)	172,800	助成額(円)	172,800	採択期	H26.3
事業の結果	○　大江山地区で行われている地域づくり活動の広報、支援を目的として地域づくりだよりを作製発行した。				
参加人数等	総世帯数　1964 世帯に配布				

⑦	亀田	かめだ梅まつり		実施日	H26.3.15～4.6
申請団体		かめだ梅まつり実行委員会		対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)	588,359	助成額(円)	100,000	採択期	H25.5

事業の結果	
	○　天候に恵まれ、期間中にちょうど開花期を迎えた。 ○　3/29 にイベントを開催。約 2500 人が来訪し、うち 1800 人がスタンプラリーに参加した。 ○　区役所前で地場産農産物を販売。商工会からも協力得て、好評を博した。 ○　別途、飲食店・菓子店でも梅を使った商品の販売にも結びついている。 ○　リピーターも増え、生産者と消費者の大切な交流の場となっている。
参加人数等	期間中来場者　約４０００人

⑧	両川	ゆめ祭り酒屋		実施日	H26.9.13
申請団体		両川工区（酒屋町商工会）		対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)	1,366,932	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3

事業の結果	
	○　地元の農業、商工業を交えた一大イベントとして、大勢の来場者でにぎわった。特に、地元農産物、農産加工品を販売するＪＡコーナーは一番の任期であった。 ○　地域外からの来場者も多く、地元農産物と消費者を直接つなぐイベントとしてＰＲ効果もあり、農業振興に大きく貢献できた。
参加人数等	総来場者　3300 人程度　　亀田郷農家(出展者)20 名程度

⑨	曽野木	曽野木商工会祭り			実施日	H25.10.13
申請団体		曽野木工区(曽野木商工会)			対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)		648,070	助成額(円)	100,000	採択期	H25.5
事業の結果	○　地元農産物の販売を通して、地域消費者との交流ができ、コミュニティーづくりに大いに活用できた。					
参加人数等	亀田郷農家１０人　曽野木商工会３６人　その他約８００人					

⑩	曽野木	地域づくりだより			実施日	H26.5.30
申請団体		曽野木地区地域づくり			対象事業	(4)たよりの発行
事業費(円)		224,208	助成額(円)	224,208	採択期	H25.5
事業の結果	○曽野木地区で行われている地域づくり活動の広報、支援を目的として地域づくりだよりを作成する。					
参加人数等	総世帯数　3780 世帯に配布					

⑪	曽野木	紫陽花祭り		実施日	H26.7.20
申請団体		丸潟新田みどりの会		対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)	300,539	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3

事業の結果	○　多自然型工法で整備された清五郎排水路を、地域のシンボルとして守り育て、丸潟新田の宝物とする為、地域住民全員が参加するあじさい（住民植栽）灯籠祭りを開催した。 ○　祭りに先立ち、清五郎排水路の植栽箇所 334m と、県道一日市線上流部植栽箇所 180m の、草刈り・搬出作業を行い、農村環境の保全に努めた。
参加人数等	亀田郷農家　55 人　　その他　26 人　　計 81 人

⑫	石山	健康まつり		実施日	H26.10.13
申請団体		石山工区		対象事業	(1)農業の祭典
事業費(円)	6,908,899	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3

事業の結果	○　地域づくり活動の一環として、健康づくりと食の安全の普及を目的として開催した。各総支部から農産物を中心とした出展を求め、健康づくりを通じて、都市と農業の共生と地産地消をアピールし、消費者や医療従事者との交流も図った。
参加人数等	亀田郷農家　約 1,000 人　　その他 4,500 人　　計　5,500 人

（２）地域づくり活動支援

①　鳥屋野潟環境啓発

水害防止、生態系保全など、鳥屋野潟が担う多面的な役割を啓発するため、鳥屋野潟環境啓発事業を実施した。活動内容は、鳥屋野潟で行われる、行政や環境団体の活動に協力し、「板合わせ」による親水体験を実施した。

なお、体験会の実施と板合わせの管理は、鳥屋野潟漁協に委託した。

年月日	イベント名	参加人数	協力団体
H26.5.17～6.15（土日）	新潟市 潟キャンペーン「水の潟ログ」潟舟体験イベント（土日開催。10 日のうち 7 日実施、雨のため 3 日中止）	255 人	新潟市　水と土の文化推進課
H26.6.21･22（土日）	いくとぴあ食花オープン記念 鳥屋野潟環境舟運	1,100 人(遊覧船乗船人数)	鳥屋野潟環境舟運実行委員会（事務局 新潟市　農業特区・農村都市交流課）
H26.8.24(日)	鳥屋野潟公園 渡し舟体験イベント（雨のため午後中止）	28 人	新潟県　鳥屋野潟公園管理事務所
H26.9.上旬	山潟小学校５年生総合学習	60 人	山潟小学校
H26.9.21(日)	とやの物語　鳥屋野潟ミニクルーズ（風のため午後中止）	70 人	とやの物語実行委員会（事務局　新潟市中央区区民生活課）

H26.6.21 鳥屋野潟環境舟運

H26.8.24 鳥屋野潟公園　渡し舟イベント

② 健康管理助成

農家の定期健康診断の受診率向上を目的として、１人あたり５千円を上限に助成した。助成人数・金額は、７７７名・３，８８０，７６０円であった。

平成２６年度　工区別助成人数・金額

工区	人数(人)	交付額(円)
横越	171	850,880
大江山	71	355,000
亀田	91	454,880
両川	86	430,000
曽野木	81	405,000
鳥屋野	40	200,000
山潟	58	290,000
石山	89	445,000
大形	90	450,000
合計	777	3,880,760

（３）都市近郊農業を発展させるための条件整備

①鳥屋野潟南部開発計画の推進

住居ゾーンについて、関係する土地改良区工区・地元組織「長潟を考える会」と連携して、土地利用に関する構想を調査・研究した。

○　H26.8 長潟を考える会の研修会に同行。土地利用、施設誘致の参考となる施設視察。（埼玉県三郷市　大規模小売施設）

３．受託事業

（１）土地賃貸借事務管理

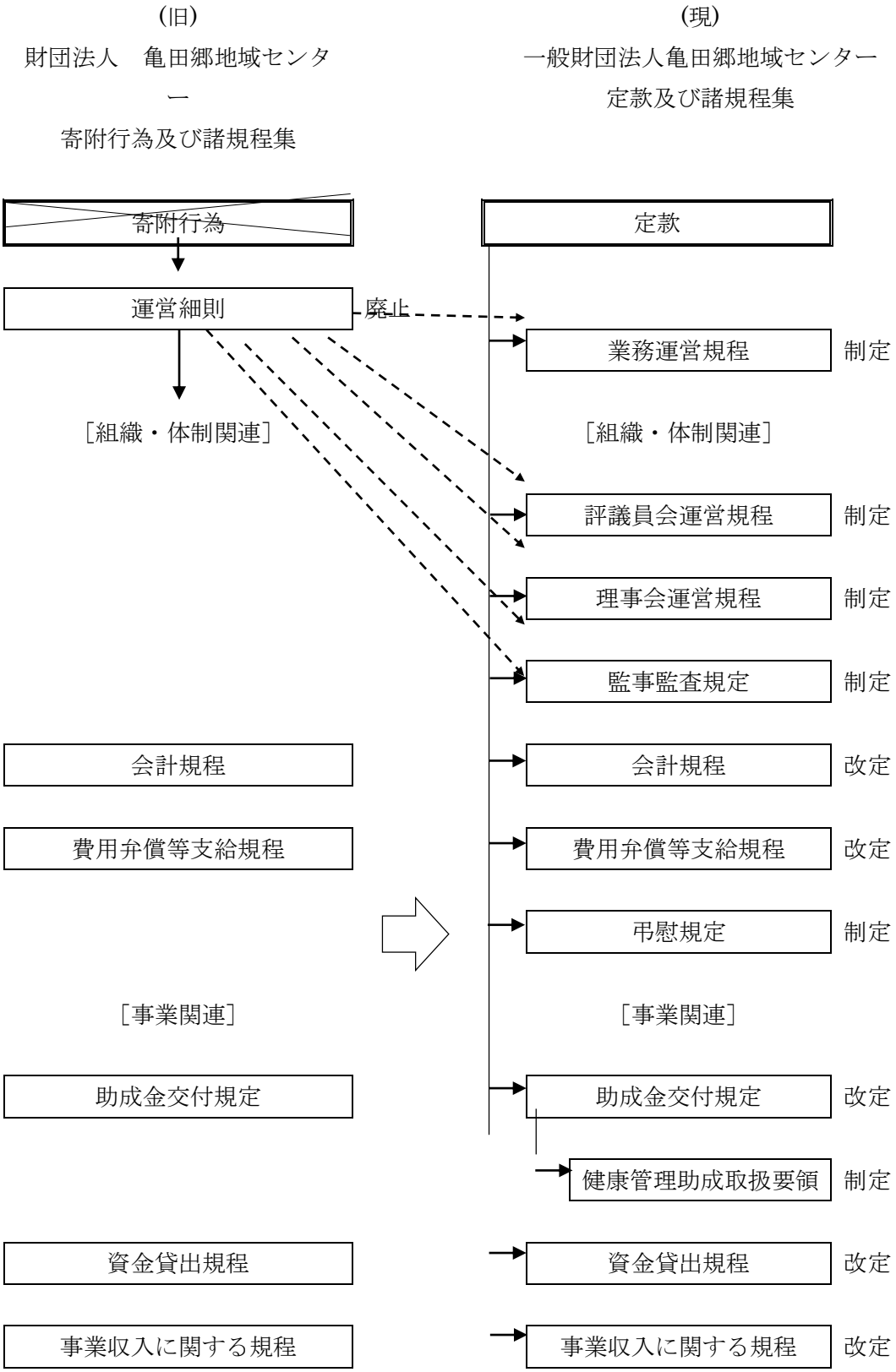
鳥屋野潟南部開発区域　国際文化・教育ゾーン内の(株)アルビレックス新潟と地権者の間で締結された借地契約について、土地賃貸借事務管理を、昨年に引き続き受託した。

（新潟市中央区鍋潟新田地内　32 筆 約 2.9ha　関係地権者７世帯１法人）
（地域センターH26 年度事業収入　４１２，７２０円）

４．その他

（１）諸規程の制定・一部改定

当一般財団法人の移行発足にあたり、定款は新しく定まったものの、諸規程は前法人時代のままであった。新法人の運営に支障を来たすことのないよう、諸規程を制定または一部改定した。



一般財団法人亀田郷地域センター　定款・諸規程　体系図